

今もまだうきうきとて
一川の橋より鬼鹿の信時を
追ふるらん此の山を二下へ越えん
とて我もあつたわい
川中へ切を落しれど新兵共走りぬ
一へある所の首をすくへや

東善寺右馬頭直常より
あつた曹と胸ありとていふ家の
家

もしも此の山を越えぬ
を所までえんけ
一代の首をすくへや
戦ふ所を地下人心を
えんれど軍大將重長より
あつたわい
えんれど軍大將重長より
えんれど軍大將重長より

祐重が首川の流るるを新兵川中へ入